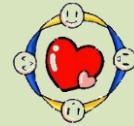


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No. 181

2016・5・1

地域育成会活性化に向けて

～全国手をつなぐ育成会連合会の取組みについて～

寄稿

全国手をつなぐ育成会連合会 統括 田中 正博



いつも、全国手をつなぐ育成会連合会の活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。さて、全国手をつなぐ育成会連合会（以降：全育連）では、新年度に向けて、地域育成会の活性化のための助成金を分配する仕組みを検討しています。そのための要項を作りましたので、お知らせいたします。

【事業の目的】

本事業は、全国の都道府県、政令指定都市、各区市町村それぞれの育成会運動が、様々な年齢層の会員を得て活発に行われる事を目的に実施する。本事業の助成を得て、主体的に研修等が行われる事で、市町村単位の育成会活動に情報が届き、それぞれの活性化が図られることを目的とする。

チョットかたい文章ですが、育成会活動の基本は市町村ごとに、地域に根ざした活動をするということです。助成の対象となる経費は、事業の目的を達成するための研修もしくはイベントの開催に要する経費になります。（以下参照）

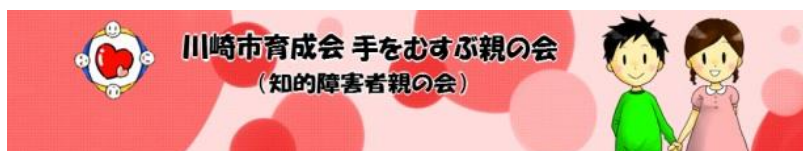
- ① 講師経費（謝金、交通費、宿泊費等）
- ② 会場経費（借上料、音響、映像等）
- ③ 広告宣伝（ポスター、チラシ等）

他の助成金を受ける場合は、原則、対象外です。助成団体から補助を得にくいけれど会員獲得には有効な企画を、是非、考えてください。交付額の上限は20万円です。川崎市の事務局に申し込んで下さい。全国からの応募に対して連合会の三役で検討をします。だいたい一つの県で2カ所40万相当の助成を目途としています。上限が20万円ですが、目一杯予算を消化しなくても大丈夫です。

55の正会員で2カ所、全部で少なくとも110の研修会が行われる見込みです。面白くて役に立つ企画があったら、他の育成会に紹介して活動の参考にしてもらおうと考えています。ふるって応募して下さい。お待ちしております。（2016年3月）

ホームページ

「川崎市育成会手をおすぶ親の会」で、検索してください。



都道府県・政令指定都市育成会代表者及び事務局長合同会議

会長 結城 眞知子

3月3日（木）にTKPガーデンシティ品川での会議に出席しました。議題が盛りだくさんの2時間でしたが、抜粋して報告します。



平成28年度の事業計画（案）から

- ・ 障害者に対する虐待事件や基礎年金の不支給問題への要望、具体化される総合支援法3年後の見直し、4月からいよいよ施行される差別解消法と成年後見制度に対しても、短期・中長期の対応に分けて考え、政策センター（担当 静岡県手をつなぐ育成会）や権利擁護センター（担当 兵庫県手をつなぐ親の会）を核にして対応をして行く。
- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障害者の文化・芸術活動の推進にも、本人活動支援委員会（担当 大阪手をつなぐ育成会）や国際委員会（担当 東京都知的障害者育成会）と連携した対応を行いながら、育成会の本来の活動である障害のある人の権利擁護と政策提言を運動体として着実に実行する体制を築いて行く。

地域育成会の活性化に向けて・・・全国各地の育成会の高齢化や会員減少に対する地域育成会の活性化に向けて、各地のニーズに応じたセミナーや研修会、ワークショップなどを提示し、講師の派遣や費用についても、新年度は地域育成会活性化のために研修等事業費助成事業を行う。以上のことに重点をおいて事業展開して行く。

会員の高齢化や減少は、全国共通の問題で、引き続き取り組むべき重要課題であることを再認識し、若い会員から高齢の会員までのニーズにどれだけ応えられるのか、試行錯誤しながら努力していく姿勢が大事だと思いました。

2015年度行政説明会

副会長 美和 とよみ



3月3日（木）TKPガーデンシティ品川で開催された、全国手をつなぐ育成会連合会「2015年度行政説明会」に結城会長と出席しました。

我が国における障害福祉、障害者雇用、特別支援教育の各施策の現状と今後の方向性について、各省の担当課からの行政説明を通じて、育成会の役員等の理解促進と研鑽を積むことを目的に行われました。

- ・ 障害福祉…厚労省社会・援護局障害保健福祉部 田中佐智子障害福祉課長
- ・ 障害者雇用…厚生労働省職業安定局雇用開発部 尾崎俊雄障害者雇用対策課長
- ・ 特別支援教育…文部科学省初等中等教育局 丸山洋司特別支援教育課長

午後1時から4時30分まで、障害福祉施策のこれまでの経緯から、予算や1人1人に合った教育への支援まで、広範囲に及ぶ説明がありました。

その中でも、障害者総合支援法施行3年後の見直しについては、閣議決定され、今国会に関係法律の改正案を提出する予定であり、注視していく必要があります。また、相談支援体制の整備や、障害者虐待防止対策、雇用における合理的配慮など、これからの進め方を見守りたいと思いました。

法制度・国の施策・市の施策など学ぶことがたくさんあります。子どもたちが安心して地域生活を営むことができるよう、皆様のご意見を伺いながら、行政へ意見・要望を出して行きたいと思っております。

『川崎市育成会手をむすぶ親の会第4回総会』開催のお知らせ

総会は代議員制とし、支部から推薦又は選出した代議員及び全会員から立候補して選出された代議員と会則第8条の役員のうち会計監査を除く役員をもって構成し、開催します。

日 時 : 平成28年6月2日(木) 10時30分～12時
場 所 : 地域福祉施設「ちどり」1階 会議室

代議員数

支部名	定数
中央支部	2
大師支部	2
田島支部	2
幸支部	3
中原支部	3
高津支部	4
宮前支部	2
多摩支部	4
麻生支部	2
田島支援学校支部	2
中央支援学校支部	2
立候補者枠	5

【議事】

1. 平成27年度事業活動報告(案)
2. 平成27年度決算報告(案)・会計監査報告
3. 平成28年度事業活動計画(案)
4. 平成28年度予算(案)

- ・支部代議員数は最低2名とする。
- ・立候補者枠5名、役員6名

- ・代議員として立候補される方は、5月13日(金)までに各支部長にお申込みください。立候補者枠を超えた場合は抽選とさせていただきます。

平成28年度川崎市心身障害児者福祉大会

日 時 : 平成28年6月25日(土) 13時00分開始(受付12時30分～)
会 場 : 川崎市総合自治会館ホール 川崎市中原区小杉町3-1

* 駐車場が狭い為、公共の交通機関をご利用ください。

大会スローガン 「障害のある人もない人も共に生きる川崎の街に」

第一部 式典 13時～13時40分 大会宣言

第二部 講演会 13時40分～15時40分

「川崎市地域包括ケアシステムについて」(仮称)

- * 心身障害児者とその家族の地域福祉の向上を図る為に開催されます。多くの方の参加をお願いいたします。

「かわしん ふれあい市場」のお知らせ

日 時 : 5月13日(金) 10時～15時
場 所 : 川崎信用金庫本店

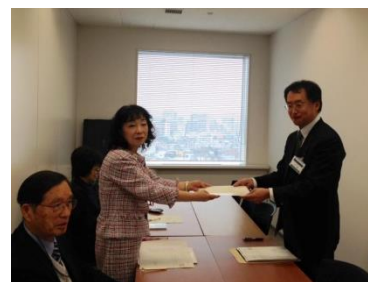


ぜひ、おでかけください。

平成28年度予算要望についての回答

副会長 宮澤 明

平成28年度の育成会からの予算要望に対する回答が、3月14日（月）に健康福祉局からありました。育成会からは三役が参加し内容について伺い、意見交換が行われました。要望内容も多岐にわたりますので、紙面の都合で特徴的な課題について報告をいたします。



- ・南部入所施設については、平成32年開設の段取りで進行中
- ・グループホーム拡充については、障害者の地域での自立した住まいの場として考えている。3年間で270床めざす。世話人体制の確保は市独自の加算をしているが、国の報酬改定の推移をみる
- ・障害者の公的支援、見守り体制の構築について、地域包括ケアシステム推進ビジョンの考え方にもとづき、地域資源と連携の仕組みづくりを検討
- ・ショートステイの増設については、川崎区（たじま）および宮前区（まじわーる）の拠点型通所施設の各4床開設予定。第二期障害者通所事業所整備計画で短期入所50～60床程の確保、暫時行政区単位での提供体制の整備
- ・市内医療施設における受け入れベッド数の確保については、現在、井田病院（重症心身）、多摩病院（肢体不自由児）、川崎病院（重症心身）があるが、新たに川崎協同病院で受け入れてもらった。順次受け入れ医療機関を増やしたい

「川崎市地域包括ケアシステム」とは、全ての地域住民が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、生活支援などが切れ目なく、一体的に提供される体制作りです。これを推進するために4月から区役所に「地域みまもり支援センター」が設置されました。この体制の中での障害者の位置づけが気になる所です。今後の取組みに期待したいと思います。

意見交換では、現場の事例等を話しました。相互共通認識確立のために、今後も意見交換の場の必要性を実感しました。

行政関係者との研修会



2月9日（火）武蔵小杉のユニオンビルで、「障害者差別解消法に伴う合理的配慮についての川崎市の取り組み」というテーマで研修会が開催されました。講師は川崎市健康福祉局障害計画課の川島課長の予定でしたが、インフルエンザのため神林課長補佐に変更になりました。

障害者差別解消法について分かりやすく解説していただきました。これからは官民ともに差別の解消に取り組んでいかななくてはならないとのことです。差別の解消と言っても今一つピンときませんが、子どもが小さい頃に公共の場で肩身の狭い思いをしたことを、ふと思い出しました。これから、障害者自身やその家族がそんな気持ちになることがない社会になると良いな、と思いました。

ただ、川崎市としては条例を制定する予定はなく、障害者差別解消支援地域協議会を設ける予定も今はないとのことでした。市の職員には職員研修などがあるようです。また、市政だよりなどを通じて啓発活動に力を入れるそうなので、期待したいところです。

新しい法律に期待する気持ちは大きいのですが、まずは施行されることを見守っていきたいと思いました。また、これからの市への要望に相談機関の設置やより具体的な啓発活動などについて、盛り込んでいかななくてはならないと感じました。（梅田 順子）

2015年度育成会フォーラム（3月2日）TKPガーデンシティ品川にて



<シンポジスト>

- 又村 あおい 氏（「手をつなぐ」編集委員）
大塚 晃 氏（上智大学教授）
野沢 和弘 氏（毎日新聞論説委員）
久保 厚子 氏（全国手をつなぐ育成会連合会会長）

<コーディネーター>

- 田中 正博 氏（全国手をつなぐ育成会連合会統括）

次のような内容でのシンポジウムがありましたので、報告いたします。

【シンポジウム 1】

1. 差別解消法と地域協議会
 - ・建設的対話（代替案の提示）により合理的配慮の提供を受け、様々な差別を解消していくことが大事。障害のある人がどのようにしてもらいたいかを声にしていかないと、今までと何も変わらない。
 - ・障害者差別解消支援地域協議会があれば、地域全体での相談・紛争解決機能の向上が期待できるので、ぜひ、設置してもらいたい。
2. 総合支援法3年後の見直し（国会に提出予定）
 - ・地域生活支援拠点の整備の推進
 - ・自立生活援助（単身生活者への定期巡回サービス）の新設
 - ・就労移行支援・就労継続支援の実績による評価の導入など
3. 65歳以上の介護保険適応問題
 - ・65歳以降は、介護保険優先原則を維持することが前提
 - ・通所サービスについては、介護保険の基準該当制度⁽¹⁾を活用して、障害福祉サービス事業所（通所施設）が引き続き支援を行える仕組みを検討

（1）市町村の判断で認めることができる。

【シンポジウム 2】

4. 意思決定支援・成年後見
 - ・成年後見制度利用促進法⁽²⁾
 - ・意思決定支援のガイドランを策定中
5. 障害基礎年金
 - ・全国統一の審査のガイドラインの概要を公表したが、このガイドラインによって実際にどのような変化があるのか、全国的な把握と悪影響を防ぐための働きかけが不可欠
6. これからの育成会活動に向けて
 - ・障害のある人の権利擁護（特に、虐待防止法・差別解消法・意思決定支援）
 - ・余暇支援活動（父親などを巻き込んで活動を行っている会がある）
 - ・地域づくり（同じような困りごとを持っている人達と一緒に解決していく）

（2）4月8日、衆院本会議で可決成立

（仁尾 智都子）

「海水浴の集い（海水訓練）」のお知らせ

実施日 7月27日（水）

場 所 勝浦 ホテル三日月（千葉県勝浦市）

*詳しいことは、後日配布されるチラシをご覧ください。
皆さまのご参加をお待ちしております。



民生委員・児童委員との意見交換会（役員研修）

1月29日（金）各地区の民生委員・児童委員との懇談会を行い、会長より、情報交換の場にしたいとの挨拶のあと、次のような話をしました。

① 障害者とのかかわり

- ・理解不足であったこととして、お菓子あげたら、量が決まっているのでと断られた
- ・行政とつながっていることも多く、見守りをしていく

② 災害時の役割について

- ・地域によって取り組みに差があるので、災害時要援護者避難支援制度や区社協の年末の慰問金などで民生委員とつながっていくことが必要、平素の見守りにも活かせる
- ・障害者を含めた避難所の訓練をしていく必要がある

③ その他

- ・障害のある子どもと一緒にソフトボールチームに参加している方がいる。地域活動に参加することが、障害理解につながる
- ・ご両親が亡くなられて一人暮らしになった知的障害のある方を、ご近所の方々と一緒に支えていたことの話
- ・その他にも事例を出して、積極的にかかわったほうがいいのかとの質問がありました。



民生委員の方々と和やかに意見交換ができました。一人暮らしの方を支えて下さったお話は、私たち親にはとてもうれしいことでした。きっと親御さんがご近所づきあいを大切にしてこられたのだと思います。民生委員さんの日ごろの見守りにも感謝いたします。

地域とのつながりを大切にし、障害の理解をしていただくように啓発に努めていきたいと思えます。 (研修事業推進委員会)

やまゆりとの共催研修会

「知的障害のある人が豊かに暮すために」

～それぞれの年代に応じた福祉サービス～

3月8日（火）又村あおい氏をミューザ川崎シンフォニーホール研修室にお迎えし、「知的障害のある人が豊かに暮すために」というテーマでお話を伺う機会を得ました。「それぞれの年代に応じた支援」と、副題にあるように、障害者のライフスタイルに沿って具体的な説明をしていただき、私達が抱える本質的な課題に光をあてた内容からは、大きな教訓を得ることができました。



当日の会場では50名ほどの参加者が集い、関心の高さがうかがえました。障害事例も児童、青年、高齢者まで多岐にわたり、それぞれの対応を具体的に解説いただき精緻を極めたお話で啓発されました。健常の人々の世界では周知のことですが私達の世界でも高齢化が進み、この状況に焦点をあてたことは特筆に値すると思えます。

また、氏作成の膨大な情報が掲載された冊子が配布されましたが、年代別のテーマを意識しただけでなく、「相談支援をつかってみよう」というコンセプトが明解に表現されており、障害者の数だけ相談のルートがあると感じました。そして、「相談」という言葉をもっと自分のこととしてかみしめたいと思いました。

自分達の思いが実現するかはまだわかりませんが、ある程度の道筋をみた思いのする実りの多い研修会でした。 (篠原 博)

「障害者相談員研修会」に参加して

中原支部 吉野 明美

1月26日（火）川崎市障害者相談員の研修会が開催されました。

冒頭、障害別の相談報告があり他の相談員の皆さんの対応やアドバイスの事例を伺いました。その後、元川崎市職員で山梨県立大学の山中達也准教授を講師に迎え「傾聴は最期まで出来る最大の援助」というお話を聞きました。

私は、相談者になんと言ったら悩みや苦しみを和らげてあげられるだろうか、どう期待にこたえてあげられるかと必死になっていましたが、話を聞くだけでも援助になっていることに気付き、背伸びせず「傾聴」を心がけていこうと肩の荷が軽くなった研修会になりました。



NPO 法人かわさき障がい者権利擁護センター

模擬相談会「親亡き後のために、今すべきこと」



2月22日（月）中部地区、3月18日（金）北部地区で行われました。1月の南部地区開催と併せて、延べ115名の参加がありました。

中部地区の助言者は、中里友（なかはら基幹相談センター相談支援専門員）・大石剛一郎（弁護士）・田部井恒雄（社会福祉士・きょうだい会）、北部地区は、河村裕孝（あさお基幹相談支援センター相談専門員）・大石剛一郎（弁護士）・明石洋子（社会福祉士・親）でした。

①重度の知的障害で両親と暮らす40代 ②中度の知的障害で車椅子生活、母と二人暮らし50代 ③軽度の知的障害、会社勤務、弟がいる30代の3つの事例にそれぞれの立場から意見を伺いました。

何処でどのように暮らすのか、親が決めるのではなく、いろいろな暮らし方を示せるようにしておく。そのためには、ショートステイやヘルパーの利用をすること、いろいろなサービスについて知っておくことが大切で、相談支援センターを利用しておくことが必要であるとのことでした。

成年後見制度や、遺言についても関心が高く、質問がでました。一歩踏み出すためにもいろいろ学んで行きたいと思います。



（美和 とよみ）

第4回「あんしんノート」書き方講習会報告

3月3日（木）地域福祉施設「ちどり」で、「あんしんノート」書き方講習会を開催しました。12名の参加でした。今回は、主に、『障害基礎年金』と『障害支援区分』について話が盛り上がりました。



「あんしんノート」書き方講習会は、ノートへの記入の仕方はもちろん、情報交換や出された課題を川崎市への要望につなげることもしています。

次回は、5月20日（金）10時30分～12時、地域福祉施設「ちどり」1階会議室です。何回でも参加できます。おしゃべりしながら進めていますので、ぜひ、お気軽にご参加ください。詳しくは、チラシをご覧ください。

（権利擁護委員会）

私たちの広場

支援者 数金 和子

恒例の料理教室を2月7日(日)川崎市栄養士会の栄養士さんと共に行いました。参加者は支援者を含め8名でした。

今回は「ご飯・煮込みハンバーグ・付け合わせの人参グラッセ・ブロッコリー・スープ」に挑戦。

いつもより少ない参加人数ではありましたが、回を重ねるうちに慣れた様子で買い物をし、料理会場へ。楽しみながらも丁寧に



お米を研ぎ、慎重に水加減を調整される方、苦戦しながらもハンバーグの具材を細かく切り、お好みの形で焼きました。

思う以上に早く完成し皆でお腹いっぱい美味しくいただきました。早くも「来年はギョウザ・シュウマイを作ろうか！」など和気あいあいと楽しい時間を過ごしました。



やまゆり研修会

知的障害者福祉の未来を見据えて

～ 障害福祉施策に私が提案すること～

講師：全国手をつなぐ育成会連合会 統括

内閣府障害者政策委員会 委員 田中 正博 氏



2月22日(月)かながわ県民センター2階ホールで開催されました。サービス等利用計画の作成が開始されてから、3年が経過しましたが、まだ活用されているとは言えないのが現状です。しかし、これはとても重要な仕組みです。相談支援専門員を強化して十分に機能させることで、本人や家族の『わたしの希望する暮らし(ライフプラン)』を一緒に考えることができます。高齢化、重度化する障害者が地域で生活していくためには、高齢化に対応できる知的障害者支援、多機能な拠点、その他いろいろな支援が必要です。現時点でも少しずつ利用できるサービスが増えてはいますが、私たちは、安穩と必要なサービスができることを待っているのではなく、自分たちで意見を出し、声をあげて法律を変えていくことが必要なのだと痛感しました。

今回の研修会では、福祉施策の未来に対する改善点や新たな提案など、多くの内容を、よどみなく明快に、かつわかりやすく話してください、とても充実した研修会でした。

(高山 君子)

2016年度版

生活サポート総合補償制度

知的障害児者・自閉症児者のための

AIUの普通傷害保険(知的障害者等福祉団体傷害保険特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット)

<p>被保険者 (補償の対象者)</p> <p>知的障害児者または自閉症児者をご加入できます。</p>	<p>補償期間 (保険のご契約期間)</p> <p>2016年4月1日から 1年間</p>	<p>掛金 入院2日目から補償プランB/ 掛金… 23,000円(保険料19,810円)</p> <p>入院4日目から補償プランA/ 掛金… 17,000円(保険料14,810円)</p>
--	--	---

詳細は取扱代理店にお問い合わせいただくか、専用のパンフレットをご参照ください。また、ご契約に際しましては、事前に重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずお読みください。引受保険会社の損害保険募集人は、保険契約の締結の代理権を有しています。

保険のお問合せはこちら

<p>■ 担当代理店 株式会社 ジェイアイシー 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)</p>	<p>■ 引受保険会社 AIU損害保険株式会社 東京第二支店 〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階 TEL: 03-6894-9110 http://www.aiu.co.jp 受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)</p>
--	---

ご加入のお問合せはこちら

やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0844 神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2
神奈川県社会福祉会館内
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

(A-000628 2018-03)

支部通信

3月おしゃべり多摩

多摩支部 美和 とよみ



3月11日（金）5人の参加で「おしゃべり多摩」を行いました。

障害者差別解消法が4月1日に施行されることをお知らせし、その後、知的障害者疑似体験を行いました。軍手を付けて行う折紙体験では、小さく切った紙を10枚そろえる体験をしたとの経験談や、高齢になるとこんな感覚かしらとの話ができました。

この会特有の、と言うことではありませんが、常に話は脱線します。今回は、ご自身や家族の健康のこと、お菓子の飲み方など、どんどん話が広がり、初めて参加して下さった方も楽しそうに話して下さいました。

おしゃべり多摩を始めて3年が過ぎました。これからもいろいろな話を聞かせていただけるのを楽しみに続けて行きたいと思えます。

2月24日（水）第8回川崎市多摩区福祉大会において、多摩区社会福祉協議会より感謝状を頂きました。



グループホーム「なかのしま」見学

中原支部 吉野 明美



3月25日（金）中原支部活動で、グループホーム「なかのしま」の施設見学に行ってきました。

施設内を見学させていただいた後、必要な費用の内訳や日常の支援体制などを聞きました。参加者それぞれが質問をしていくうちに、職員の佐藤さん相手の相談会のようになり、たくさんのお話を伺えて勉強になりました。

そして「こんなホームが中原にも出来たら良いのに」と、みんなが口々に言っていたのが印象的でした。

川崎三支部 第2回勉強会&茶話会「子どもの将来の生活について」

田島支部 安達 ゆかり

3月28日（月）川崎市南部身体障害者福祉会館にて、勉強会と茶話会を開催しました。はじめに結城会長より、「障害者支援講座」の報告がありました。結城会長、中村支部長含め18名が出席し、知的障害を理解していただくための意見交換ができたとのことでした。

次に各支部長から、テーマに添っての話しがあり、会員の方々から、お話を聞きました。皆さんの意見で多かったのは、「親がいるうちに子どもの生活する場所を決められるのか？」ということでした。土地の不足している南部地区は、施設が建てにくい地域で福祉施設が少ないのも原因の一つだと思います。三支部では、このご意見を支援相談員さんへお伝えし、会員の皆様に回答することで、次回の勉強会へと繋げていきたいと思っています。会員の方々のご意見は貴重だと改めて感じました。



川崎市関係主要職員の紹介（平成28年4月1日現在）

【健康福祉局】

健康福祉局長	成田 哲夫
障害保健福祉部長	左近 志保
障害計画課長	柳原 成行
障害計画課 担当課長	石原 明敏
障害福祉課長	下浦 健
精神保健課長	右田 佳子
障害者雇用・就労推進課長	西川 洋一

障害者更生相談所長	廣政 稔
障害保健福祉担当部長（発達相談支援）	中山 浩
障害者更生相談所 担当課長	野木 岳
井田障害者センター所長	岡部 健
百合丘障害者センター所長	森江 信子

各区・地区ステーション 障害者支援担当の連絡先について

管区	電話番号
川崎	201-3294
大師	271-0162
田島	322-1984
幸	556-6654
中原	744-3265

管区	電話番号
高津	861-3326
宮前	856-3261
多摩	935-3296
麻生	965-5159

【担当】 ・ 区役所

保健福祉サービス課障害者支援担当

・ 地域保健福祉ステーション

保健福祉サービス係

平成27年度特別支援学校等卒業生の進路状況

1 卒業生の状況

学校名	卒業生
市立中央支援学校	63
市立田島支援学校	23
市立聾(ろう)学校	2
県立鶴見養護学校	2
県立中原養護学校	34
県立高津養護学校	40
県立麻生養護学校	27
市外特別支援学校	5
その他の学校	65
合計	261

2 近年の特別支援学校等卒業生の進路先

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
日中活動	就労移行	18	34	39	15 %
	就労継続	23	29	19	7 %
	生活介護	79	69	75	28 %
	自立訓練	0	0	2	1 %
	地域活動支援センター	9	5	4	2 %
	重心通園	0	0	0	0 %
	計	129	137	139	53 %
	入所	0	2	3	1 %
就労	54	60	67	26 %	
職業訓練機関	4	6	7	3 %	
通学	7	6	11	4 %	
その他	12	18	34	13 %	
合計	206	229	261	100 %	

自由投稿

～障害者差別解消法施行に思うこと～

幸支部 仁尾 智都子

4月1日「障害者差別解消法」が施行された。この法律の趣旨は、「障害のあるなし関係なく、皆、対等な立場で生活しましょう。」ということだと思う。「合理的配慮の提供」は「思いやり」に言い換えられるかなあ。「障害があっても周りの人の思いやりを力に変えて、自立、社会参加しないと、共生社会は作れない。」と考えると、やはり、障害のある人やその家族が、助けてほしいことを声にして、「合理的配慮の提供」をお願いしないといけないと思う。だって、この法律が障害のある人の人生を後押ししてくれるのだから。



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告
 《平成28年1月19日～平成28年4月18日まで》

<各種会議、行事等>

1月21日(木)	第5回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日(金)	民生委員・児童委員との懇談会(役員研修)	地域福祉施設「ちどり」
2月1日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
3日(水)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
4日(木)	多摩支部新年交流会	福祉パルたま
5日(金)	麻生支部新年会	夢庵(しんゆり21)
8日(月)	新年高津支部会	福祉パルたかつ
9日(火)	行政関係者との研修会	ユニオンビル
12日(金)	川崎三支部新年会	南部身体障害者福祉会館
15日(月)	第10回運営委員会・関ブロプロジェクト会議	地域福祉施設「ちどり」
17日(水)	中原支部新年会	福祉パルなかはら
19日(金)	幸支部新年会	さいわい健康福祉プラザ
26日(金)	宮前支部新年会	藍屋(宮前平)
29日(月)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
3月3日(木)	あんしんノート書き方講習会	地域福祉施設「ちどり」
6日～7日	春の宿泊レクリエーション	湯西川温泉
8日(火)	やまゆりとの共催研修会	ミュージア川崎研修室
14日(月)	第6回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
14日(月)	平成28年度予算要望川崎市回答	ソリッドスクエア
15日(火)	第11回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
16日(水)	第4回研修事業推進委員会	地域福祉施設「ちどり」
4月7日(木)	三役会議	地域福祉施設「ちどり」
18日(月)	第1回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

各支部の新年会の様子は、ホームページをご覧ください。

<対外行事>

1月25日(月)	関東甲信越ブロック代表者会議	ワークピア横浜
26日(火)	成人を祝う会第5回実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
2月9日(火)	福祉有償運送運営協議会	ソリッドスクエア
10日(水)	平成27年度障害者団体部会研修会	エポックなかはら
22日(月)	川崎市施策審議会	教育文化会館
3月1日(火)	障害者団体部会	エポックなかはら
2日(水)	育成会フォーラム	TKP ガーデンシティ品川
3日(木)	育成会代表者・事務局長合同会議・行政説明会	TKP ガーデンシティ品川
15日(火)	市立中央支援学校平成27年度卒業式	市立中央支援学校
22日(火)	ともかわさき評議員会	地域福祉施設「ちどり」
22日(火)	3つの親の会会長会議	地域福祉施設「ちどり」
24日(木)	ともかわさき理事会	地域福祉施設「ちどり」
25日(金)	川崎市社会福祉事業団評議員会	事業団事務局
30日(水)	かわさき障害者福祉施設たじま開所式	同所

賛助会費、ご寄附誠にありがとうございました (順不同・敬称略)

小林 文夫	高津区梶ヶ谷	5,000円	今野 好子	高津区蟹ヶ谷	6,000円
田中 浩子	幸区戸手	5,400円	雫 宏隆	宮前区野川	5,000円

*1,000円以上の方を記載しています。

春の宿泊レクリエーション

日光東照宮・湯西川温泉 1泊2日バス旅行



3月6日(日)～7日(月)に、参加59名で、バス旅行を行いました。現在、東照宮は平成の大改修で、輪王寺の三仏の改修の見学と、今だけしか見られないという天空回廊を拝観しました。昼食は湯葉と干びょう料理。美容と健康を願いつつ美味しくいただきました。宿泊先ではゆっくり温泉に入り、大宴会場での夕食。カラオケ最後の曲では、歌に炭坑節の振り付けをあわせ、仲居さんも一緒になって踊り、とても楽しい思い出になりました。

2日目はあいにくの雨でしたが、足尾銅山ではトロッコ列車に乗った後、作業の様子などの展示を見ながら坑内を散策しました。最後の見学は、桐生織物の展示会場です。絹織物の着物はとても美しく、感動しました。2日間の行程を終え、帰路につきました。



(余暇活動委員会)

2日間の行程を終え、帰路につきました。

『手をつなぐ』を購読しませんか！

全国手をつなぐ育成会連合会の機関紙『手をつなぐ』は、知的障害のある人の暮らしに役立つ情報が満載です。身近な問題から福祉施策の最新情報などを年間3,800円で毎月お届けします。購読のお申し込みは、各支部役員までご連絡ください。



編集後記

会員の皆様、いつも会報をご愛読いただき誠にありがとうございます。

年4回会報を発行していきますとあつと言う間に一年がすぎていき委員の皆様年齢もあがっていくようです。でも役員、委員一同和気あいあいと年間数回の会合を経て会報を形作っています。会報の内容をよりふくらませるためには皆様のご意見が是非とも必要と考えます。フレッシュな思いをよせていただければ幸いです。

広報委員 篠原 博

【もくじ】

- P. 1 田中統括寄稿／ホームページ
- P. 2 育成会代表者及び事務局長合同会議／2015年度行政説明会
- P. 3 総会のお知らせ／福祉大会のお知らせ／かわしんふれあい市場のお知らせ
- P. 4 平成28年度予算要望についての回答／行政関係者との研修会
- P. 5 2015年度 育成会フォーラム／海水浴の集いのお知らせ
- P. 6 民生委員・児童委員との意見交換会／川崎市育成会・やまゆり共催研修会
- P. 7 障害者相談員研修会／
NPO法人かわさき障がい者権利擁護センター模擬相談会／あんしんノート
- P. 8 私たちの広場／やまゆり研修会／やまゆり広告
- P. 9 支部通信
- P. 10 川崎市主要職員紹介／特別支援学校等進路状況／自由投稿
- P. 11 親の会活動報告／賛助会費
- P. 12 春の宿泊レクリエーション／手をつなぐ購読募集／編集後記／もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 結城 眞知子
〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>